

# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
発行者 高橋 猛  
編集 調査研究部

## 教育会は、こんな団体？



副会長  
平井 有年



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編  
松山市立子規記念博物館 監修

今年度、中学校の校長会長として松山市教育会の副会長をさせていただきます。

私は、教育会へは会費を納めるだけでほとんど関わりもなく、組織としての認識もありませんでした。今回役員になったことで、少しは理解できたと思っています。理解するのに30年以上かかっているのは情けない限りです。しかし、誰も教えてくれなかったし、聞こうともしなかったのも事実です。今回このような機会をいただいたので、現職会員に少しでもこの団体を理解し、活用できることを考えてもらえたら幸いです。

さて、教育会の組織としては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、PTAの各団体が団結して結成されたのが日本教育会で、全国組織の職能団体として活動しています。愛媛県教育会もその組織の一部で、県内18の地区に教育会が置かれています。松山市教育会もその一つで、さらに、市内小学校区に支部を置いて活動しています。

活動内容としては、相談事業、関係団体との交流、文化講座や教育に関する出版物（各種テスト、教育関係職員録等）の発行、各団体の研究大会や研究への助成を行っており、その各団体の事務局が集まっているのが文教会館です。そして、これらの運営を主にさせていただいているのが、退職された先生方です。特に、各支部では、退職された先生方の教職経験でのスキルを活かし、スクールガードなどの見守り活動や授業のアシストやゲストティーチャーなど学習面のサポートを行い、支部ごとに特色ある活動を行っているようです。

このように、この団体の主旨は、生涯学習の推進と、教育現場へのサポートが中心だと思いました。研究や教育実践・研修は愛媛県教育研究協議会が担っており、教育会は、現職や退職教員関係なく教育に関わる者の生涯学習のためのサポートであり、現職にとっては、教育会と愛媛県教育研究協議会は、我々会員が主体的に教育を行うための両輪であると思いました。

来年度からは、新学習指導要領が移行期に入り、完全実施は、小学校が平成32年度、中学校が平成33年度です。内容では、道徳の教科化や小学校の英語が新設され、教育方法や目的も大きく変わろうとしています。さらに、再任用や新規採用教員の増加、教員の働き方改革など、教育環境の激変に対して、どんな準備をし、指導していくかが学校現場の課題であると考えます。自分の立場で何ができるか分かりませんが、お手伝いさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

# 平成28年度 教育功労者 松山市教育会



松山市教育会では、本年5月20日の松山市教育会定期総会において、以下のとおり、9氏に第50回教育功労賞を贈り、表彰しました。

## 勝田 昇氏

---

愛媛県生涯学習推進講師を10年間、愛媛県長寿学園講師を8年間務め、県内社会教育の推進に貢献した。また、旧中島町教育長を務め、行政の立場から社会教育の振興に尽力した。

さらに、松山市教育会八坂支部長を4年間務め、支部長を2年間で交代する制度の導入や現職とOBの交流の場づくりに指導力を発揮した。地域活動においても、八坂小学校評議員を4年間、松山北高校中島分校学校評議員を18年間務め、八坂公民館運営審議会委員、八坂校区高齢クラブ連合会長、築山町内会長等を歴任し、幅広い立場から学校教育及び地域の活性化に貢献した。

## 山本道國氏

---

学校教育では、現職当時国語科教育の充実発展に尽力するとともに、愛教研国語委員長、四国国語教育研究会会長として、学校教育に多大な功績を残した。また、愛教研北条支部長として、組織活動の充実に努めた。さらに、高縄幼稚園園長として、幼児教育の発展に尽くした。

社会教育では、北条市教育委員会社会教育委員として、地域の教育の向上に大きく貢献した。また、松山市正岡公民館長として各種事業を推進し、住みよい地域づくりに貢献した。特に、元気活力支援事業では、児童を対象とした健康づくりなど、地域教育の発展に貢献した功績は大きい。

## 仁木省三氏

---

和田重次郎氏のアラスカでの業績を松山市民に広めるための顕彰会に入り、その一員として活動した。愛媛大学同窓会報109号及び111号に寄稿し、顕彰碑建立の経緯や顕彰会のアラスカ訪問について詳しく記述している。監査役を最後に顕彰会から身を引いたが、その功績は顕著である。

地域活動においては、松山市教育会清水支部の班長として支部活動の発展に尽くした。特に、支部班長会では自身の考えを積極的に発言し、支部活動の活性化に努めた。また、近年の会員減少の傾向や高齢化に心を痛み、清水支部らしい活動の提案を続けてきた。

## 村上 典氏

---

平成26・27年度は、松山市中学校長会の事務局を務め、校長会の運営を支えた。平成28年度は、松山市中学校長会長として、校長会をまとめリードするとともに、小学校や高等学校等との連携にも尽力し、校種を超えた児童生徒の育成を推進している。

愛媛県教育委員会義務教育課においては、生徒指導担当指導主事を3年間務め、迅速で的確な事件・事故への対応や、自らの経験を生かした具体的で明確な教育現場への指導・助言等、愛媛の教育に大きく貢献した。

平成27・28年度は、道後中学校長として、教育の動向や社会の状況等も幅広く視野に入れ、これからの社会を創り出していく生徒たちが身に付けていなければならない資質や能力をしっかりと見極め、生徒の健全育成を第一に、学校経営に取り組んでいる。

### 堀内 壽夫氏

校長として学校教育に向き合う姿勢が一貫しており、学校組織をリードし、教職員の資質向上により教育的実践力を高めた。また、児童生徒のキャリアアップにつながる活動を積極的に展開し、児童生徒の活躍の場を広げた。これにより児童生徒は自己有用感を高め、基礎学力の向上や児童・生徒会活動の充実、部活動の活性化等、意欲的に取り組んだ。

教育行政の仕事にも携わり、学校教育を全体的な視野からとらえ、教育会をリードした。平成28年度には、愛媛県小中学校長会中学部会長をはじめ、四国地区や全国の校長会の要職を兼任し、今後の学校教育や学校運営の在り方等について見識を深め、学校現場の教育活動に生かした。

### 菊池 準子氏

学校現場において、児童の発達段階に応じた性教育の重要性を十分認識した上で、年間指導計画の見直しや改善に関わり、学校で教えるべき健全な性教育の確立に努めた。長年、保健主事としての広い立場から、性教育を推進しようと学級や学年の枠を超えて指導にあたり、実践を通して他の教職員への指導も行ってきた。また、「性教育は家庭との連携が大切である。」という観点から、学校における性教育の内容を広報紙を通して保護者に伝え、理解を図った。講師としてPTA活動にも積極的に関わった。

このような活動の中で、学校保健・食育・健康教育等、多くの研究組織の委員となり、県内の保健教育全般にわたり、幅広く活躍した。

### 白石 成行氏

長年、理科教育に携わり、児童に理科の面白さや不思議さ等を実感させようと、教材や教具を工夫し、興味関心を持たせる指導を続けてきた。花いっぱい委員会では、校内を花いっばいにし、美しい環境づくりに励んだ。児童に植物への愛情を持たせるために、当番活動をうまく生かしながら、土作りや苗植えに積極的に関わらせた。また、理科主任としても、理科室の環境整備に気を配り、児童が教具等を出し入れしやすい配置を考え、学習の効率化を図ることができた。

校外においても、自然科学教室の世話に積極的に関わり、松山市全体の理科教育の振興に力を注いだ。

### 平岡 洋子氏

養護教諭として39年間、子ども・保護者・教職員に誠実に対応してきた。確かな知識と技術で、けがや病気に対して適切・的確に対処し、信頼を築いてきた。また、学校保健の様々な研究大会において、研究発表を重ねてきた。道後中学校勤務の時代には、生徒保健委員会の活性化による学校保健の推進を図り、松山市学校保健研究大会で研究発表をした。昭和60年11月8日、それまでの実践が認められ、文部大臣表彰を受けた。

近年は、養護教諭の研修会講師を務め、市教研養護教員部長や推進委員長等の役職を通じて、養護教諭の力量の向上のために努力してきた。

### 芳居 洋子氏

学校栄養職員として29年、栄養教諭として11年、合計40年間勤務し、久万高原町や松山市の小中学校で学校給食と食に関する指導の中心となって力を発揮した。給食管理・栄養管理に関しては、給食の献立作成、栄養計算、調理員への調理指導や衛生管理等に尽力した。また、食に関する指導では、食育だよりや指導資料、掲示物等を作成し、学校給食を教材として、食物の持つ様々な働きや、食べることの大切さを子どもたちに伝えた。年度末や年度当初には、食物アレルギー対応について保護者を交えて相談するなど、安全な学校給食の運営に力を発揮した。

温和で誠実な人柄で、何事にも誠心誠意取り組む姿勢は、教職員の模範である。

#### 松山市教育会 教育功労者表彰に関する規程」より

第1条 この規程は、松山市教育会会則第4条第4号に基づく事業を行うために定めるものである。

(目的)

第2条 この表彰は、会員の中で、学校教育及び社会教育の伸展に著しく貢献した個人または団体に対して、その功績をたたえとともに会員の意欲の高揚を図り、松山教育の向上発展に寄与することを目的とする。

(内容)

第3条 表彰は、次の功績に対して行う。

- 1 学校教育について、顕著な功績のあったもの。  
(学校経営、学級経営、各教科及び教科外等の研究や実践)
- 2 社会教育について、顕著な功績のあったもの。  
(各種の社会教育活動、学校と家庭、社会との関連に関する教育活動)  
(一部抜粋)

# 第10回 教育講座



## 今、求められる道徳教育の具体的な展開

講師 愛媛県総合教育センター 企画開発室

指導主事 山岡 健二 先生

平成29年7月28日(金)午前10時から、エスポワールえひめ文教会館を会場に、教育講座を開講した。まず、高橋猛会長から、「教育改革に向けて子どもたちのために研修を怠らないように。」と挨拶があった。続いて講師から、小学校では今年度教科書も採択される「特別な教科 道徳(道徳科)」について、改訂のポイントと学校として取り組むこと、指導方法の工夫についての講話があった。

### 1 学習指導要領改正の主なポイントについて

#### (1) 道徳教育の目標

「自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ことを目標とし、「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」というように授業がイメージできるものとなった。

#### (2) 道徳的諸価値について理解するとは

価値理解・人間理解・他者理解があり、道徳的価値は人間らしさを表すものである。

### 2 完全実施までに学校として取り組むことは

基本的方針について共通理解を図り、指導計画(全体計画、年間指導計画)を改善し、指導体制の充実を図り、学校と家庭や地域との連携を強化する。

#### (1) 具体的な取組内容

ア 学校の重点内容項目の決定

イ 多様な教材を活用した創意工夫ある指導ができる年間指導計画の立案…各地域に根ざした地域教材など、多様な教材を併せて活用することが重要となる。学校の実態により教科書の比率を決めていく。

ウ 確実な道徳の時間の確保のためのシステム作り…板書に「第〇回道徳」と提示、授業後の掲示物コーナーの設置、児童の道徳係、ローテーション授業、学年会の活用など。

道徳的諸価値について理解する

道徳的価値について理解するとは

価値理解	道徳的価値は人間としてよりよく生きる上で大切なことである
人間理解	道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない
他者理解	道徳的価値の感じ方、考え方は一つではなく多様である

道徳的価値は人間らしさを表すもの



エ 評価に対する認識…数値による評価、観点別評価は行わず、児童がいかに成長したかを認め、励ます個人内評価として記述式で行う。

オ 評価のための資料の蓄積…学習態度の自己評価や、本時の道徳的価値（価値理解が深まっているか）、自己の生き方（今までとこれからを考えているか）についての自己評価ワークシートの蓄積が必要。

カ 指導要録の所見の在り方…学習状況の様子や道徳性の成長、特に顕著と認められる具体的な状況、認め励ます評価を記載していく。

キ 道徳科の在り方…子どもと共に考え感動を共有する。問題意識を大切にする。登場人物の生き方を考える。多様な考えを生かし、話し合い、自分なりの答えをもつことが大切。

(2) 指導方法の工夫

質の高い多様な指導方法…登場人物の自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習など。

ア 問題解決的な学習の進め方…①道徳的問題を明らかにする。「何が問題か」②解決策を考える。「登場人物はどのようにしたらよいか」「自分ならばどのようにするか」「人間としてどう生きるか」③解決策について話し合う。④学習を振り返り、日常生活につなげる。

イ 挨拶や丁寧な言葉遣いなどの具体的な道徳的行為に関する体験的な学習や役割演技など、疑似体験的な表現活動を取り入れる。

ウ 心を動かし、多様な考えを引き出し、思考を深める発問の工夫

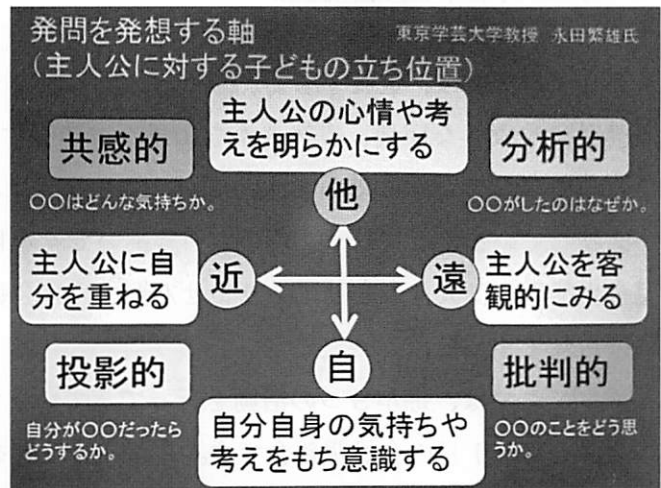
意識の流れ、考える必然性・切実感、自由な思考、発問の大きさ、問い返し。

エ 深め合い切磋琢磨する話し合いの工夫

3 まとめ

山岡先生から、先生方に望むこととして、道徳の授業を「確実に実施する」「楽しむ」「チャレンジする」「アクティブ・ラーナー

になる」という言葉が贈られました。「challenge」は「change」に通ずる。子どもと共に考え、悩み、感動を共有して行ってほしいと結ばれました。



山岡先生の笑顔あふれる軽妙な話し方と、効果的な指導方法の工夫についての具体的な例を提示していただいたおかげで、あっという間に時間が過ぎ、参加者の満足度は非常に高いものとなりました。

<参加者の感想>

- ・教科化に向けての課題、やっていかなければならないことが増えてきたように思います。
- ・発問を発想する軸については、今まで自分が迷っていた内容だったので、ねらいの達成に近づくために選択すればよいことが分かり、すごく納得ができました。
- ・分かりやすい講義で、やってみたい、試してみたいという内容でした。

## ブロック編成

区名	学 校 名	区名	学 校 名
1区	番町小、味酒小、八坂小、東雲小、清水小、姫山小、 <b>勝山中、東中</b>	5区	堀江小、潮見小、久枝小、和気小、みどり小、 <b>鴨川中、内宮中、北中</b>
2区	新玉小、雄郡小、素鷲小、桑原小、たちばな小、双葉小、 <b>拓南中、雄新中、桑原中、城西中</b>	6区	湯山小、日浦小、道後小、湯築小、伊台小、五明小、 <b>道後中、湯山中、日浦中、旭中</b>
3区	味生小、生石小、垣生小、余土小、味生第二小、さくら小、 <b>津田中、垣生中、余土中、西中</b>	7区	浮穴小、石井小、荏原小、坂本小、椿小、石井東小、石井北小、 <b>久谷中、南中、南第二中、椿中</b>
4区	三津浜小、宮前小、高浜小、興居島小、怒和小、中島小、 <b>三津浜中、高浜中、興居島中、中島中</b>	8区	久米小、小野小、北久米小、福音小、窪田小、 <b>久米中、小野中</b>
		9区	浅海小、難波小、立岩小、正岡小、北条小、河野小、栗井小、 <b>北条北中、北条南中</b>

### ブロック紹介

#### 第6ブロック理事 平野 忠司

第6ブロックは、道後・湯築・湯山・日浦・伊台・五明の6つの支部から成っています。観光地 道後温泉や大きな団地、自然豊かな山里などを有する地域で、小学校6校、中学校4校に3,300名ほどの児童生徒が学んでいます。また、OB会員は、道後・湯築・湯山・伊台の4つの支部で54名が活動しています。ブロック理事を引き継いで4年目を迎えました。初年目の26年度と比較して、児童生徒数には大きな変動はありませんが、OB会員では約2割の会員数減少が大きな変化として挙げられます。

ブロックでは、毎年3つの活動を行ってきています。8月の教育懇談会（昼食会）、秋の観劇懇談会、そして1月の会員懇親会です。これらの活動を通して、情報や意見を交換し、会員相互の親睦を深めるとともに、各支部の課題等を共有して支部間の連携を図るなどしており、ブロック内を温かく見守る雰囲気をつくっています。

しかし運営面では、年3回の活動に会員の参加が難しくなっています。年間を通して学校や教職員の都合が一致する機会は皆無であるといっていると思います。昨年度（28年度）は、観劇懇談会は開催が見送られることとなりました。この会は、26年度の開設当初はOBを対象に設けられましたが、できれば現職会員も参加できるようにと、土日で日程調整を図ったのですが、残念な結果になりました。

支部の中には、諸般の事情から懇親を深める会が持てない支部もあり、ブロックが各支部の活動を補完している状況にもあります。本年度の初会合となった、8月29日の教育懇談会では、現職会員15名OB会員6名が、新しい陣容で臨む各学校の取組を聞いた後、昼食をとりながら楽しく歓談しました。

今後とも支部活動及びブロック活動の充実・強化に努めていきたいと思っています。